日本ＣＣＳ調査株式会社

苫小牧におけるCCUS大規模実証試験

（**実施期間**：2012年度～ ）

技術テーマ区分番号 ： ⑫

主な実施場所 ： 苫小牧CCS実証試験センター（北海道苫小牧市）

関連外部リンク先

■ NEDO委託事業「苫小牧におけるCCUS大規模実証試験」

取組活動の内容

● **目的**

実用プロジェクトと同等の設備構成でCO_2の分離・ 回収から貯留までのCCS（二酸化炭素回収・貯留）プロセス全体を我が国初の一貫システムとして実証すること。

● **成果**

1.分離・回収から貯留までのCCS全体を一貫システムとして実証するとともに2019年11月22日、CO_2の圧入目標30万トンを達成しました。圧入は停止しました。

2.各種モニタリングおよび海洋環境調査を通じて、CCSが安全かつ安心できるシステムであることを確認しました。

3.実証試験の地元、国内に向けて情報を広く公表しCCSの理解を深める活動を、さらに海外に向けた情報発信や国際協力等の活動を、継続的に実施しました。

4.操業技術を獲得するとともに、CCS実用化に向けた取り組みを通じて得られた知見と課題を整理しました。

以上の成果等をまとめた報告書を2020年5月に公表しました。

● **今後の取り組み・課題**

CO_2の海底下貯留の許認可を規定する海洋汚染防止法を遵守すべく、引き続き、圧入したCO_2の分布及び海域の状況をモニタリングします。

2030年までのCCSの実用化に向けて、次の課題があげられます。

■ 低コスト化　■ CO_2輸送手段の確立　■ 貯留適地の確保

■ 事業環境整備

イメージ図

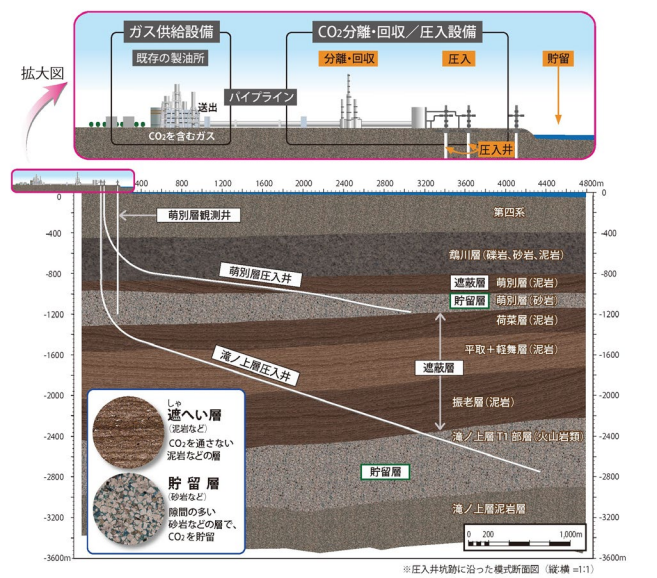

図１ ：CCSのしくみ

図2：苫小牧CCS実証試験センターの設備

公的資金の活用状況（提供元、資金名、活用期間、スキーム等）

- METI事業「平成24年度二酸化炭素削減技術実証試験事業（国庫債務負担行為に係るもの）」等（2012年度～2017年度）
- NEDO事業「苫小牧におけるCCUS大規模実証試験」（2018年度～2026年度（予定））